

電気こたつによる火災にご注意！

冬の暖房器具の主役のひとつである「電気こたつ」。比較的安全と思われる電気こたつも、一度使用を誤ると、火災などの事故に繋がります。

電気こたつによる火災を防止するために次のことに注意してください。



- 1 電気こたつの中で衣類を乾かさない。
- 2 座いすや座布団、上掛けなどが電気こたつ内のヒーター部分(ヒーターユニット)カバーに触れないようにする。
- 3 電源コードがこたつの脚などの下敷きになった状態で使用しない。
- 4 電源コードを折り曲げたり、ねじったりしない。
- 5 電気こたつ(ヒーターユニットなど)を改造・修理して使用しない。
- 6 外出などで留守にする場合は、電源を切り、電源プラグを抜く。

【NITEの再現実験】



座いすとともに押し込まれた掛け布団から発火しました



こたつ内に入れた衣類から発火しました



芯線が半断線状態となって短絡・スパークし、発火しました